

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 120	提案機関名 横浜市漁業協同組合
<b>要望問題</b> ホタテガイの貝類増養殖の技術開発	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 横浜市漁協では平成19年度から資源回復計画に参加し、シャコ資源等の回復に努めてきたが、今後対象水産生物の多様化を図り、安定した漁業経営が求められている。貝類養殖は水域の環境改善にもつながり、富栄養化した東京湾には適した漁業と考えられる。 昨年度から、漁協ではホタテガイの養殖試験を実施しているが、これからも技術指導をお願いしたい。	
<b>解決希望年限</b>	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	水産技術センター	<b>担当部所</b>	企画資源部（普及指導担当）
<b>対応区分</b>	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)	漁業の担い手育成・水産業改良普及活動		
<b>対応の内容等</b>	平成26年度に実施したホタテガイ養殖試験は、養殖種苗の輸送方法やその後の馴致方法などの基礎的な調査と、垂下養殖の技術習得が主たる目的であり、種苗の幹旋から養殖技術について支援してまいりました。結果は、高生残率の輸送方法と馴致方法を確立し、高生残率で養殖することができました。 平成27年度は、出荷サイズの大型化や、付着生物の洗浄や垂下水深の変更による成長促進などにポイントを置いた養殖試験に取り組むと聞いておりますので、引き続きの支援をしてまいります。		
<b>解決予定年限</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
<b>備考</b>			